喜ばれる石山老人休憩所

「生きがい対策もとり入れたい」老人ク連絡協議会

旧石山中学校跡地に、四月十日オープンした、老人無料休憩所「石山荘」には、連日、地域のお年寄りたちが四・五十人やってきて、おふろに入ったり、お茶のみ話に花を咲かせたり、楽しい一日を過ごしています。

「ばかぁいい湯だったのお」。今年八十八歳になった**鷲津ハツ**さん（石山）。体はポカポカ、ゆげを出しながら、みんなのいる大広間に入ってきました。石山の村の者では、いちばんのお年寄り。息子さんは農業。

山二ツにお住いの**横田トシ**さん（七一）は、となりの山田ムツさん（七一）を誘ってやってきます。「ちょっと足が悪いんで、乳母車を引いて来ますテ」。

「フラワーセンターの花が咲くのが楽しみだネ」と、毎日、おいでになっている**蓮場完次**さん（石山、六十一歳）。「ここに来るのは、人生の生きがいだネ、喜んでいますテ」。

「だれか、しょうぎの相手はいないかのぉ」と、わが強敵の現れるのを待っている**山崎峰吉**さん（石山、七十一歳）。石山が堀ばかりの湿田時代、川ぶねを作っていた舟大工でした。

ひとふろあびた、じいちゃん、ばあちゃん。大広間で、おかしを出し合いながら、お茶を飲み飲み、世間話をして、ゆったりと一日を過ごしています。

新しくできた老人無料休憩所「石山荘」で、ゆったりとくつろぐお年寄りたち

運営は老人ク連絡協で

「石山荘」の運営には、石山地区老人クラブ連絡協議会（**小沢与一**会長）があたっていますが、前会長の**吉田了観**さんは、「今後は、生きていてよかった、張り合いができた―というような、生きがい対策を考えていきたい。たとえば、ワークルームを利用した楽焼、フラワーセンターから指導してもらいながら、鉢を置かれるところを作ったりしての園芸クラブ、みんなから希望の出ている民謡など、いろいろなものをやっていきたい」と、抱負を語っていました。

フラワーセンターに隣接するため、全市域のお年寄りにも利用してもらおう、と、火曜日と木曜日、一般のお年寄りに開放します。

会費　月額　千円
申し込み　北部公民館へ電話でお申し込みください。
★茶道石州流「月曜会」
練習日　毎月第一・二・三月曜日午後一時～三時
会場　北部公民館
講師　中川ミエ先生
会費　月額　千七百円
申し込み　濱町四の鹿取宅へ（☎22―五〇二五）
★「あかねぬ会」煎茶教室
練習日　毎月第二・三・四木曜日午後六時～八時
会場　中央公民館
内容　煎茶の入れ方、作法
講師　小川流師範　山岸正枝先生
定員　三十名（定員を越えた場合は抽選）
費用　月額　千円
申し込み　五月十二日までに返信用封筒同封の上、中央公民館（西堀通六）へ

★婦人のための上手な話し方グループ
日時　五月より第二・第四火曜日　午後一時半～四時半
会場　中央公民館

市長随想

もぐらの家のひとたち

小新の地に生れた「もぐらの家」が五周年を迎え、去る四月四日、地元周囲をあたたかく包んでいる人たちなどが部屋いっぱいを埋めつくしての祝いの式が行われた。風間忠雄さんのいう、一粒の麦は死なず、根を張って、小新の部落ぐるみの恵まれた土壌の中にすくすくとのびているさまを見て、福祉施策の原点を知らされた思いがした。

それにしてもよくここまで頑張ったものだと思う。そしてここまでくるとも大丈夫ではないのだろうかと思う。

この仕事をひとりの障害者が言いだして、今は亡き上村忠雄先生が〝六か月もつかな〟と心配したそうだが、この日を先生に見せたかったというのが、参会者の気持ちであったようだ。

私は〝原点〟といった。ここの住人は「まず私たちが力を出す、他人に依存するのでなく」という。知恵おくれの人、立って歩けない人、筆談しかできない人などが、本気になって生きているのである。国や自治体にすがる気持ちを捨てて、自ら生きようと歯をくいしばっているのである。

彼らの今の望みは、隣りの土地を買って居住棟を建て、作業場をもう少し拡げたいということである。一か月三千円くらいの分配の中から積み立てて資金をつくっている。これではいつまでかかるのかなとも思う。

私らに欠けているすばらしいバイタリティーをこの人たちは身につけている。

彼らの前途をきびしくもあたたかく見守っていきたいし、恵みでない応援をしたいと思うのである。

すがすがしい一日であった。

新潟市長　**川上喜八郎**

学童保育

白山・大畑小に新設

既設を含め合計六か所に

〝ひまわりクラブ〟をご存知ですか？

共働きの家庭などで、児童が放課後、家に帰っても保護者や保護者に代わるべき保育者がいない家庭の児童を対象とした学童保育をするところです。

学童保育は、園児保育と並んで市が重要視している福祉施策の一つ（園児保育の充実については、今月から、公立保育園の長時間保育を実施することになりました。＝一面参照＝）。

現在市内には、鏡淵小、入舟小、桃山小、木戸小にあり、今年白山小、大畑小にも新設、計六か所になります。

ひまわりクラブには一施設二人の指導員がいて児童の世話にあたっています。運営には市が当り、運営に用する費用も市で負担していますので、利用される方からは一日分の間食・雑費五十円を月ごとにクラブに納入していただくだけで結構です。

開設は月～金曜日

開設日　毎週月曜～金曜日（但し、祭日及び年末年始を除く。）

開設時間　学校の放課後～午後五時。但し夏・冬・春休み中は午後一時～五時。

経費　一日分の間食・雑費五十円を月ごとにクラブに納入。

対象　次に掲げる①～③に該当する人。但し、単に父母の都合により留守家庭になる場合や近くに保護する者があって、その方がよいと判断した場合は除かれます。

①小学校一・二・三年生
②放課後、家に帰って父母祖父母、兄姉など保育者がいない家庭の児童。
③保護者が生計のためどうしても外へ働きに出なければならない家庭の児童。

ご希望の方は、学校の先生か、直接、ひまわりクラブの指導員にお申し込みください。

新設の白山小、大畑小はまだ余裕がありますし、他のひまわりクラブも数名収容できます。

各種会員募集

★謡曲観世流「木曜会」
練習日　毎週木曜日午後一時～四時
会場　北部公民館
講師　成田ヒノ先生

家庭園芸

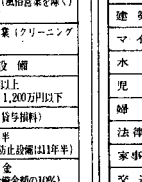
虫や病気は早めに見つけよう

ご相談は…
園芸センターへ（☎86―1034）

庭木にも、病気や虫のつく機会があるので注意したいものです。梅のカイガラ虫は、小さな点々が幹や枝につきやすいのですが、これらは見つけしだい手でつぶすかブラシでこすってやります。

冬、葉の落ちた時、春、発芽前に石灰硫黄合剤をうすめて、お天気の良い日に散布します。

新芽によくアブラムシのつくものですが、小さな木では見つけしだいとりつぶしますが、粒剤もあります。バラやその他の花木に出るウドンコ病は、ダイセンザイを使います。



虫や病気は、早めに見つけること、木を健康に育てることが大切です。なお、薬を使う場合は、池の鯉に注意し、薬屋さんとよく相談しましょう。

市民相談

どうぞご利用を

種別	実施日	内容
市政相談	毎日	市の仕事についての要望・要望
心配ごと相談	毎日	困っていること悩んでいること
みどりの相談	毎日	樹木・草花の植え方・育て方
建築行政相談	毎日	建築一般についての心得指導
マイホーム相談	毎日	住宅を建てたい人のために
水洗化相談	毎日	水洗便所と家庭排水
児童相談	毎日	子供の養育・子供と家庭
婦人相談	毎日	婦人問題のすべて
法律相談（弁護士）	毎週水曜日、第1・第3金曜日（予約制）	法律問題のすべて
家事相談（家政職員）	毎月第2・第4月曜日（予約制）	家庭内のもめごと
交通事故相談	毎日	交通事故についてのすべて
交通事故の法律相談（弁護士）	毎週木曜日（予約制）	交通事故に関した法律問題
高齢者職業相談	毎日	高齢者の求職・求人相談

中小企業者のための設備近代化制度

～ただ今、受け付け中～

制度名 / 条件	中小企業設備近代化資金	中小企業設備賃与
対象業種	建設業、小売業（水産物食肉、青果物）	小売業（風俗営業を除く）卸売業
	製造業、鉱業、運送業、サービス業（クリーニング公衆浴場、カラー写真現像焼付）	
対象設備	指定された設備	
貸付（賃与）金額	10万円以上 800万円以下（設備金額の50%以内）	20万円以上 1,200万円以下
利子	無利子	5%（賃与相料）
償還期間	5年（公害防止設備は12年）	4年半（公害防止設備は11年半）
備考		保証金（設備金額の10%）
申込期間	6月19日まで	予算消化まで
申し込み	市工業振興課（本庁5階）	

防火管理者講習会

日時　6月3日・4日の2日間　午前9時～午後4時半（定員200人）
会場　市消防本部（東大畑町通1―643）
経費　2,800円（テキスト代実費）
申し込み　5月25日まで消防本部、東西消防署へ。申し込み用紙は各出張所にもあります。

昭忠祭

日時　5月3日　午前11時から
会場　白山神社昭忠碑前広場
行事　少年相撲大会、民謡など
先着200人に花の種子を差し上げます。

アマチュアボクシング教室

練習日　毎週月・水・金曜日の午後七時から
会場　市体育館北練習場
申し込み　直接練習場へ
指導　アマチュアボクシング連盟公認コーチ